

## 第4回「一日体験ボランティア」報告

平成27年12月25日(金)9:30~15:30

聖康会病院・デイケアぶどうの樹の皆さんと

「ランチとおやつを作ってクリスマス会をしよう！」

今年の『ぶどうの樹』で行われた第4回『一日体験ボランティア』は、例年のおやつ作り  
りに少し趣向を変えてクリスマス会としたことで、冬休みに入っていた学生さんからも申  
し込みがあり、定員の5名があつという間に埋まってしまいました。

せっかく申込みされたかたのためにと、15名まで定員数を増やしていただき、当日は  
体験参加者9名と市民参画センター職員2名の合計11名で参加させていただきました。

活動の前に、『ぶどうの樹』職員の山田さんから「『ぶどうの樹』は聖康会病院に通院し  
ている精神障がい患者さんにリハビリの場を提供しており、精神障がいの理解をしてい  
ただくため、開かれた医療機関として『一日体験ボランティア』を受け入れしています。」  
という説明があり、「失敗はしても構わないので、物事に取り組む過程を大事にしてほしい。  
協力して1つ1つの作業をすることに意義があります。」とお話していただきました。

同じく『ぶどうの樹』職員の佐藤さんからは、「ノロウイルスも流行っているので、調理  
中は携帯の使用を控えて欲しい」などの注意事項を伺い、また当センターからは、「作業の  
メインはメンバーさんで、参加者のかたは補助的にお手伝いする形での参加をお願いしま  
す。」とお話しました。

今回は料理の品数が多いため、3班(キッシュ班、鮭のムニエル班、鶏肉手羽元班)に分  
かれて、それぞれが別な料理を作るという形で全員が振り分けられ、そこで各自自己紹介  
をしてメンバーさんとともに調理作業に入りました。

参加者のかたは洗い物の手伝いや作業内容の確認などを行って、なるべくメンバーさん  
が中心になるように心がけてくれていました。一生懸命調理に取り組んでいるメンバーさ  
んを気遣う参加者のかたの姿に、ボランティアとしての良い体験になっていると感じまし  
た。

それぞれの調理が終了し、オープンでキッシュが焼きあがるまでの間、参加者もメンバ  
ーさんも入り混じって休憩し、学生さんがメンバーさんの中にすんなり溶け込んで楽しそ  
うに話をしていた様子が印象的でした。

今日の調理のほかに、事前に施設の方でピラフや鶏の手羽先料理、手作りとは思えない  
プリンデザートなどを準備してくれ、今までにないとても豪華な昼食となりました。メン  
バーさんもこんな豪華な食事は初めてだとのことで、学生さんも参加して雰囲気も明る  
くなったこともあり、昼食の場は大いに盛り上がっていました。

韓国出身の参加者のかたが民族衣装のチマチョゴリをお披露目したいということで、施  
設の職員と2人でチマチョゴリに着替え、拍手喝さいを浴び、あちこちで写真撮影が始ま

り盛り上がりました。

そのままビンゴゲームをし、景品は全員の分用意されているとはいうものの、お互いいつビンゴになるかと少し緊張しながらもワクワクしながら全員でゲームを楽しんでいる様子が伝わってきました。

毎回盛り上がりのある『一日体験ボランティア』ですが、今回は特に食事も豪華、ゲームもありで、メンバーさんと参加者は一体となって、賑わいのあるものになったと思います。

最後に施設側から感想を記入する用紙が渡され、体験参加者もメンバーさんも全員が感想を発表しました。

皆さんが発表した内容は、ボランティアとしてすごく楽しめたこと、こういうボランティアにはまた参加したいということなど参加して良かったという内容で、メンバーのかたからもボランティアさんと一緒に楽しかったという感想があり、双方で楽しんでいた様子がうかがえました。初めてボランティアを体験した学生さんにもボランティアは楽しいと実感していただいたようで、『一日体験ボランティア』がボランティアを始める人のために役に立っていると感じました。